

放課後等ディサービス 夢門塾 自己評価表

記入日:	2024年12月10日
事業所名: 夢門塾ゆうゆう西藤	

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員と指導訓練室のスペースは適切である	3	1	0	利用定員は法定基準に則って対応している。 十分なスペースを確保するため、活動場所を分ける工夫をしている。
	②	職員の配置は適切である	3	1	0	法定基準に則って配置している。
	③	衛生面の管理が行き届いている	4	0	0	コロナウイルス蔓延時に策定された感染対策マニュアルに基づいての清掃・消毒を継続している。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定を振り返り)に、広く職員が参画している	4	0	0	毎日の朝礼・タレミーティング、月ごとの職員会議を行い、業務の振り返りと改善を行っている。
	⑤	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者様の意見を把握し、業務改善につなげている	4	0	0	毎年評価アンケートを実施している。 アンケート結果は事業所内、社内で共有し、改善につなげている。 またアンケート以外の場でいただいたご意見についても周知し、対応している。
	⑥	自己評価の結果を公開している	4	0	0	利用者様には書面にて、また、ホームページでも公開している。
	⑦	職員の資質向上のため、会議・研修の機会を確保している	4	0	0	事業所内で月ごとに数種類の会議を開催している。 研修は法人内で行っており、全職員研修を受けている。
	⑧	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者様のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を立てている	4	0	0	半年ごとにモニタリング面談を行い、現状の把握やニーズを伺いながら個別支援計画を作成している。
	⑨	活動の計画をチームで行っている	4	0	0	全職員が関わって計画を作成している。
	⑩	活動の計画が固定化しないよう工夫している	4	0	0	会議を行い、利用者様の現状に合わせた取り組みを検討し活動内容に取り入れている。固定化しないように新鮮なプログラムの作成、マイナーチェンジを行っている。
適切な支援の提供	⑪	平日、休日、長期休暇に応じて、課題を決め、細やかに設定し、支援している	4	0	0	支援時間や状況・季節に応じたプログラムを作成している。目的や目標を持って計画を作成している。
	⑫	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、活動を計画している	4	0	0	基本的には集団活動を行っているが、利用者様の状況やプログラム内容に応じて個別活動も組み合わせて支援を行っている。
	⑬	支援開始前に、職員間で打ち合わせし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4	0	0	毎朝のミーティングにてプログラムや個別の支援内容の確認、各職員の役割分担を行っている。
	⑭	日々の支援に関して正しく記録をとる事を徹底し、支援の検証・改善につなげている	4	0	0	個人ごとのケース記録を毎日記録し、特記事項がある場合には別の書式にて記録を残し、検証・改善に繋げている。
	⑮	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断している	4	0	0	半年ごとにモニタリング面談を行い、個別支援計画の継続か更新かを判断して新しい計画を作成している。
	⑯	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	3	1	0	基本活動の要素が偏らないよう、組み合わせて様々な活動を行っている。

関係機関、保護者様との連携	⑯ 学校との情報共有(年間計画・行事予定等予定の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行えている	3	1	0	連携を取り、必要な情報共有を行っている。
	⑰ 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所または学校等との情報共有と相互理解に努めている	3	1	0	利用開始時点で利用前の情報をいただき、必要に応じて見学等行っている。
	⑲ 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供している	0	4	0	移行を伴う卒業・退所の前例がない。 対象となる方のご利用がある時のため、日ごろから自立支援協議会に参加し、他機関との関係づくりを行っている。
	⑳ 児童発達支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	0	0	必要に応じて連携を行っている。 尾道市児童部会に参加している。
	㉑ 日常的に子どもの状況を保護者様と連携し、発達状況や課題について共通理解を受けている	4	0	0	連絡ツールのコドモンや送迎時の会話にて当日の様子を共有し、ご家庭での様子や学校での情報を伺っている。
	㉒ 運営規定、支援の内容、利用者負担等に付いて丁寧な説明を行っている	4	0	0	契約時に重要事項説明書にて説明を行っている。 また、必要に応じて説明を行っている。
	㉓ 保護者様からの子育ての悩み等に対する相談に応じ、必要な助言を行っている	4	0	0	送迎時や電話にて時間を取り、お伝えしている。
	㉔ 保護者会等を開催し、保護者同士の連携を支援している	0	3	1	令和7年2月に開催予定。
	㉕ 子どもや保護者様からの苦情について、対応体制を整備、周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	4	0	0	社内の迅速な共有を行い、対応を行っている。 必要に応じて相談支援専門員を含めて対応している。
	㉖ 定期的に会報等発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を発信している	4	0	0	毎月、書面にて来月の行事予定を含めたお知らせを発行している。
保護者様への説明責任等	㉗ 個人情報保護に十分注意している	4	0	0	個人情報を含む書類は事業所内に適切に保管している。インターネットや会報等への掲載に関しては契約時に同意をいただき、厳守している。
	㉘ 障がいのある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしている	4	0	0	必要に応じて視覚支援の活用を行っている。 また、保護者様との連絡に関してお伝えの方法を検討し、認識の確認を行っている。
	㉙ 地域の行事に参加したり、事業所に地域住民を招待する等し、地域に開かれた事業運営を行っている	2	1	1	学校行事への参加を行っている。また、活動として地域行事への参加も計画に入れることがある。
	㉚ 緊急対応、防災、感染症マニュアルを策定し、周知している	4	0	0	それぞれ法人内で策定されたマニュアルがあり、職員は研修を受けている。
	㉛ 非常災害の発生に備え、定期的に避難訓練を行っている	4	0	0	年に2回、利用者様と共にしている。
	㉜ 虐待防止のため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4	0	0	毎年虐待防止の研修に参加しており、毎月の会議でも虐待防止の確認を行っている。
	㉝ いかなる場合も身体拘束を行うか否かについて、組織的に決定し、子どもや保護者様に事前に十分説明し、了承を得た上で支援計画に記載している	2	2	0	身体拘束を行った事例がないが、行う場合の条件や決定フロー、連絡方法と記録について重要事項説明にてご説明している。
	㉞ 保護者様に記入いただいた与薬表をもとに、子どもへの投与を行い、チェックを行っている	3	1	0	与薬の事例がないが、与薬表の書式を用意し、機会があった際には十分な確認を行って行う準備をしている。
	㉟ ヒヤリハットを綴り、事業所内で共有している	4	0	0	事例があった際にはヒヤリハットを記入し、全職員で共有、改善策を検討している。
	保護者様評価、自己評価についてまとめ				
保護者様から、かなり良い評価をいただいた。現状の支援にご満足いただいているご意見を多くいただいたため、今後も継続して行っていく。 また、現状維持に留まらないよう、評価いただいている点を失わないよう注意しながら向上を目指して日々会議と支援を継続していきたい。 保護者会については、多くご意見をいただいた。令和7年2月に保護者会を開催し、職員と保護者様、保護者様同士の交流の場としたい。 自己評価に関して、職員間での認識の相違が明らかとなった部分が見えたため、研修を行い、認識のすり合わせを行う。					